

平成25年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 黒部Eサービス株式会社	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 電話：03-6830-9028 FAX：03-5479-8592 Mail：itoh.takaharu@swing-W.com
代表者氏名 伊東 隆治	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】
(他薦の場合) 上記団体を推薦する団体の名称	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】

部門名 (2) ②広報・団体等広報部門	事例名 アメニティ施設「ばいお~ゆ」の開設
------------------------	--------------------------

事例の概要 (適宜、写真、図、記事の画像等を挿入して下さい)

当施設(足湯)は、平成23年5月から一般市民に公開され暑い夏の日も雪が降り風吹く北陸の真冬も、9時から20時まで一年中無料開放された黒部浄化センター内のアメニティ施設です。

温水の燃料は黒部浄化センターに併設されたPFI施設の下水汚泥と近隣のコーヒー粕が原料ですから驚きです。原料をメタン発酵槽にいれ消化発酵させるとバイオガスが発生します。このバイオガスには下水汚泥の臭いもコーヒーの臭いもしません。バイオガスで沸かしたお湯は足湯「ばいお~ゆ」に流されます。

当浄化センターの総合公園や総合体育センター、アクアパークに車や徒歩で来られ、ひと時の会話や北アルプスの壮大な山並みを目の前にしながらの足湯を楽しんだ方が1万人を超えました(自主的に記名した方の合計)。

今の時期は、冬バージョンとして足湯をテントですっぽり覆っています(見た目モンゴルのゲルです)ので雪深い黒部ですがこの足湯は別世界です。

詳細は、HPをご覧ください。

ホームページアドレス

<http://www.kurobe-e.com/>



エントリー事例の特徴 (下水道インフラの価値を高める上で優れていると思われる点など)

黒部市は下水汚泥の有効活用としてメタン発酵施設の公募を行い、黒部Eサービスが選定されました。当社は地域貢献として足湯を提案し「ばいお~ゆ」として市民に還元しています。市民はインフラ施設とアメニティ施設で行き復りの受益者と理解者となることでしょ。水と水が交じあう場所は人と人が集う場所となり益々発展する事業としたい。